

写真4-9 地下道の出入り口側に付けられた獣道



●アクセスコントロール

これまでに述べてきたようにOld Hatfieldの円形広場を中心とした空間は、建物で4角に囲まれているものの、どこからでも不審者がアクセス可能となっている。建物と建物の狭い隙間も塞がれることなく、不審者の自由通行空間となっている（写真4-10。図4-10の地点番号⑦及び⑧）。

それ以上に問題なことは、建物の2階部分の非常階段的な昇り口が地点番号②の位置に付けられてしまっているため、誰でもが2階部分に上がって行くことが可能なことである（写真11及び12）。

こうした弱点をさらに強めるのは、地点番号③の空間が「誰でも駐車可能な駐車場」となっていることで、そのため、不審者の徘徊と家屋への接近が極めて容易となり、この空間の問題性を強めている（写真4-13）。